

# 第56回滋賀県人権教育研究大会レポート

## 第3分科会「人権問題に関する学習・啓発」

### 「男女共同参画意識の現状と課題」

#### ～会員アンケートの結果より～

- 1. 1. 男女共同参画の推進に必要とする意識の向上
- 2. 2. 男女共同参画の推進に必要とする意識の向上
- 3. 3. 男女共同参画の推進に必要とする意識の向上
- 4. 4. 男女共同参画の推進に必要とする意識の向上

本分科会の委員、アンケートの結果、男女共同参画の推進に必要とする意識の向上が最も重要であると回答された。また、男女共同参画の推進に必要とする意識の向上が最も重要であると回答された。また、男女共同参画の推進に必要とする意識の向上が最も重要であると回答された。

同分科会委員のアンケートの結果、男女共同参画の推進に必要とする意識の向上が最も重要であると回答された。また、男女共同参画の推進に必要とする意識の向上が最も重要であると回答された。また、男女共同参画の推進に必要とする意識の向上が最も重要であると回答された。

米原市女性の会  
平尾 和子

## 1 はじめに

「米原市女性の会」は平成17年の市町村合併により「米原市」が誕生したのをきっかけに設立に向けて動き出した「女性団体」です。

合併前、旧4町の婦人連合会は、各地域とも年々会員の減少に伴って組織の存続が危惧されておりました。とりわけ旧米原町はすでに解散の状況にあり、他の3町も市町村合併をきっかけに「解散」を待っている状況でした。

当時、各地域の婦人連合会の役員であった者や有志を中心に、今後の「女性団体」の設立に向けて議論をしてきました。

男女共同参画社会の実現に向け、今こそ、行政に女性の声を届けていくための女性団体の組織が必要との思いをもち、さっそく「準備委員会」を立ち上げました。

従来の旧町婦人連合会がなぜ年々衰退していったのか。その要因をきちんと整理することが「準備委員会」の最大の作業でした。旧町4地域の役員や会員への聴き取りをしながら、要因を把握し、今後の組織づくりへの糧としました。

要因の主なものは以下の4点です。

- 1、 組織に加入すると役が順番に回ってくるのが苦痛である。
- 2、 行事や事業に際して参加動員がかけられることが負担である。
- 3、 人や地域とのつながりや学習は仕事をしているので必要と感ぜない。
- 4、 会に入っていることにメリットを感じない。

各地域に共通した要因を重点的に見直し、時代に即した、会員のニーズに応えられる組織づくりをめざしました。翌、平成18年4月「米原市女性の会」が誕生し、設立総会を開催致しました。

この会を維持存続させていくために規約の中に以下の項目を盛り込みました。

(目的) 会員相互の連携と親睦を図り、女性の教養を高めるとともに男女共同参画の推進及び地域社会の発展に寄与することを目的とします。

(会員) 本会の目的に賛同する米原市在住の成人女性をもって構成します。

\*会員は自治会や学区単位の加入ではなく、個人の自由意思による個人会員とし、米原市内在住の成人女性を対象としました。

\*役員は順番制をとらず本人の意思を尊重するものとし、行事や事業への参加については、全会員への案内は徹底し、動員はかけないとしました。

- ・今後、「男女共同参画の社会づくり」を本気で実践していくためには、会員の意識の現状を把握し、ひとり一人が日常生活の中で不合理と感じたり、社会的矛盾を感じたりしていることを出し合い、それらの課題解決に向けて取りくむことが必要だと思います。

40代以降の会員の多い組織において、「男女共同参画社会に対する意識」はどのようなものであろうか。現状と課題を整理することを目的に別紙のアンケート調査を実施いたしました。

発足当初市内各地域から約120名の女性が加入され現在に至っています。

## 2 活動目標（5つの柱）

- 1、 次代を担う子どもたちの育ちを支援する。（子育て支援）
- 2、 人権、男女共同参画の実現に向けて取りくむ。（男女共同参画）
- 3、 環境にやさしい暮らしづくりに取りくむ。（環境問題）
- 4、 安心、安全の暮らしづくりに取りくむ。（防災・復興支援）
- 5、 女性の会活動の啓発、啓蒙に力をいれる。（組織の活性化）

## 3 活動実績（1、2のみ紹介）

### ① 子育て支援活動

○市の子育て支援センター事業へのボランティア登録

○公民館、NPO 団体等の子育て支援事業への参加

○ふれあい移動動物園の開催（平成18年度より継続）

\*親子の触れ合い、小動物との触れ合い、命の重さについて話を聞く。

（ほりい動物園、ボランティア110番動物園）

○子育て講演会の開催

### ② 男女共同参画

○市の「心の悩み相談室」の相談員派遣（DV相談）

・平成19年度よりDVやセクハラといった暮らしの中でのさまざまな「女性問題、男性問題」などについて相談活動を実施しています。（米原市、人権政策課委託事業）

○市の審議会、協議会、委員会などに積極的に参画

・女性の意見を行政に届ける。（25委員会に参画）

○市政に関心を高める。（市長と語る会、市議会の傍聴）

○女性起業家から学ぶ。

（池田牧場イタリアンジェラード、ローザンベリー多和田）

○男女共同参画に関する会員アンケートの実施

・「米原市女性の会」は、設立7年目を迎えており、初年度より活動の柱の一つに「男女共同参画の社会づくり」を掲げています。

しかし、これまでの取り組みは各種委員会への参画や、市の「男女共同参画セミナー」への参加、また県内の女性起業家から起業するに至る生きざまを聞かせていただく受身的な研修でした。

## 男女共同参画に関する会員アンケート

米原市女性の会

(該当する項目に○をしてください)

問1 あなたの年代は？

- 1 20歳代    2 30歳代    3 40歳代    4 50歳代  
5 60歳代    6 70歳以上

問2 あなたは結婚されていますか？

- 1 結婚している（配偶者がいる）    2 結婚していた（配偶者とは離婚・死別）  
3 未婚である

問3 あなたのお宅の家族構成は次の中のどれにあたりますか。

- 1 単身世帯（1人暮らし）    2 1世代世帯（夫婦だけ）  
3 2世代世帯（親と未婚の子ども）    4 2世代世帯（親と子ども夫婦）  
5 3世代世帯（祖父母と親と子ども）    6 その他の世帯

問4 あなたは「男は仕事、女は家庭」といった考え方に同感しますか。

- 1 同感する    2 どちらかと言えば同感する    3 同感しない  
4 どちらかと言えば同感しない    5 わからない

問5 あなたの家庭では男性が家事（食事、掃除、洗濯、買い物など）に参加していると思いますか。

- 1 思う    2 どちらかと言えば思う    3 思わない  
4 どちらかと言えば思わない    5 わからない

問6 あなたのお宅では夫婦がともに子育てにかかわり、協力しあうようになってきていると思いますか。

- 1 思う    2 どちらかと言えば思う    3 思わない  
4 どちらかと言えば思わない    5 わからない

問7 あなたのお宅では介護の負担が男女ともに適切に分担されるようになってきたと思いますか。

- 1 思う    2 どちらかと言えば思う    3 思わない  
4 どちらかと言えば思わない    5 わからない

問8 あなたは地域活動において女性の意見が反映され、男女がともに協力し合っている取り組んでいると思いますか。

- 1 思う    2 どちらかと言えば思う    3 思わない  
4 どちらかと言えば思わない    5 わからない

問9 あなたは政治や行政などへの女性の参画は進んでいると思いますか。

- 1 思う
- 2 どちらかと言えば思う
- 3 思わない
- 4 どちらかと言えば思わない
- 5 わからない

問10 あなたは女性の能力や個性が発揮しにくい地域のしきたりや慣習は改善されていると思いますか。

- 1 思う
- 2 どちらかと言えば思う
- 3 思わない
- 4 どちらかと言えば思わない
- 5 わからない

問11 女性の人権が尊重されていないと特に感じるものを3つ選んでください。

- 1 女性の容姿を競うコンテスト
- 2 女性のヌード写真を掲載した雑誌を待合室に置いておくこと
- 3 女性の水着姿や媚びたポーズなどを、内容と無関係に使用した広告
- 4 「女のくせに」「女だから」という言葉
- 5 会議や地域の集まりで、いつも女性がお茶を出すこと

問12 女性が仕事を持つことについて、あなたの考えに最も近いものを1つお答えください。

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける（方がよい）
- 2 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 3 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 4 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念する
- 5 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する
- 6 仕事を持たない（方がよい）
- 7 その他（ ）

問13 男女の性別にこだわらず、それぞれの個性や能力が尊重される社会に向けて、男女共同参画の取り組みは必要だと思いますか。

- 1 必要だと思う
- 2 どちらかと言えば必要だと思う
- 3 思わない
- 4 どちらかと言えば思わない
- 5 わからない

問14 今後、米原市の発展に何が大切だと思いますか。（女性の会への要望など）

ありがとうございました。

男女共同参画に関するアンケートから見る成果と課題

(1) 米原市女性の会からの声を集める

- ① 形態：シンプルな調査票、☆回答しやすいものから配列、☆同類のものをまとめる
- ② 調査項目：男女共同参画に即した調査項目を設定、☆PRを兼ねた（米原市・女性の会）
- ③ 回収方法：
- ④ 回収率：実施110人、回答51人、 47%

(2) 会員の実態を把握

年代	問(1) あなたの年代は？二〇代から三〇代は該当者無しでした	問(2)あなたは結婚されていますか？			問(3)あなたのお宅の家族構成は次の中のどれにあたりますか。					
		結婚している（配偶者あり）	結婚していた（配偶者とは離婚・死別）	未婚である	単身世帯（一人暮らし）	一世代世帯（夫婦だけ）	二世代世帯（親と未婚のこども）	一世代世帯（親と子ども夫婦）	三世代世帯（祖父母と親と子ども）	その他の世帯
40代	3人	3人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	2人	0人
50代	25人	22人	2人	1人	0人	2人	8人	8人	6人	1人
60代	21人	19人	2人	0人	0人	10人	5人	2人	2人	2人
70代	2人	1人	1人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人

問(4) あなたは「男は仕事、女は家庭」といった考え方に同感しますか。	40代	50代	60代	70代
同感する	0人	0人	1人	0人
どちらかと言えば同感する	1人	4人	3人	2人
同感しない	2人	10人	10人	0人
どちらかと言えば同感しない	0人	11人	7人	0人

(%)

問(5)あなたの家庭では男性が家事(食事、掃除、洗濯、買い物など)に参加していると思いますか。			問(6)あなたのお宅では夫婦がともに子育てにかかわり、協力しあうようになっていると思いますか。			問(7)あなたのお宅では介護の負担が男女ともに適切に分担されるようになってきたと思いますか。		
	思う・どちらかと言えば思う	思わない・どちらかと言えば思わない		思う・どちらかと言えば思う	思わない・どちらかと言えば思わない		思う・どちらかと言えば思う	思わない・どちらかと言えば思わない
全体	52.9	43.1	全体	67.4	32.6	全体	65.0	35.0
40代	67.0	33.3	40代	100	0.0	40代	100	0.0
50代	52.2	47.8	50代	61.9	38.1	50代	61.1	38.9
60代	61.9	38.1	60代	76.5	23.5	60代	72.2	27.8
70代	0.0	100	70代	0.0	100	70代	0.0	100

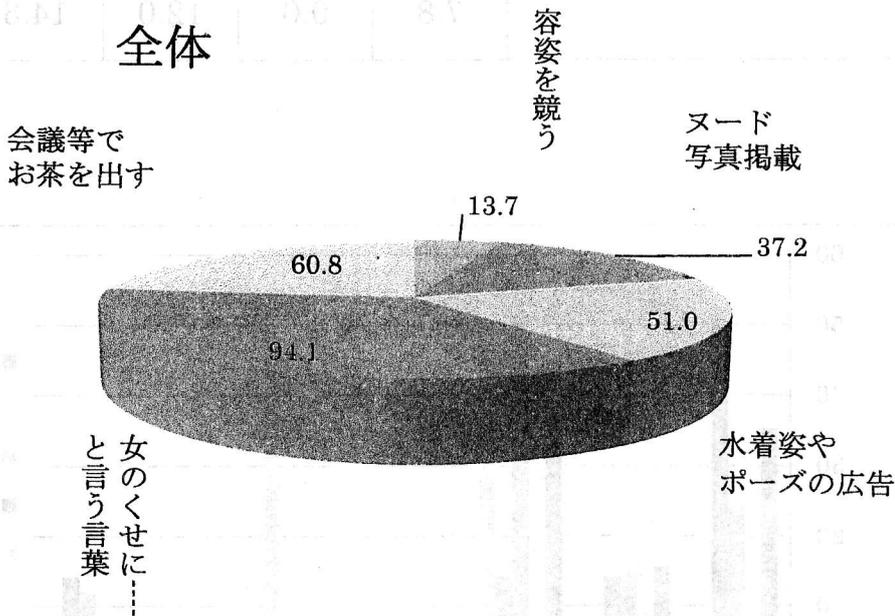
(%)

問(8)あなたは地域活動において女性の意見が反映され、男女がともに協力し合って取り組んでいると思いますか。			問(9)あなたは政治や行政などへの女性の参画は進んでいると思いますか。			問(10)あなたは女性の能力や個性が発揮しにくい地域のしきたりや習慣は改善されていると思いますか。		
	思う・どちらかと言えば思う	思わない・どちらかと言えば思わない		思う・どちらかと言えば思う	思わない・どちらかと言えば思わない		思う・どちらかと言えば思う	思わない・どちらかと言えば思わない
全体	39.2	49.0	全体	39.2	52.9	全体	41.2	51.0
40代	66.7	33.3	40代	66.7	33.3	40代	66.7	33.3
50代	32.0	52.0	50代	44.0	44.0	50代	36.0	52.0
60代	42.9	47.6	60代	33.3	61.9	60代	47.6	47.6
70代	50.0	50.0	70代	0.0	100	70代	0.0	100

問(11)女性の人権が尊重されていないと特に感じるものを3つ選んでください。

	女性の容姿を競うコンテスト	女性のヌード写真を掲載した雑誌を待合室においておくこと	女性の水着姿や媚びたポーズなどを、内容と無関係に使用した広告	「女のくせに」「女だから」という言葉	会議や地域の集まりで、いつも女性がお茶を出すこと
全体	13.7%	37.2%	51.0%	94.1%	60.8%

全体

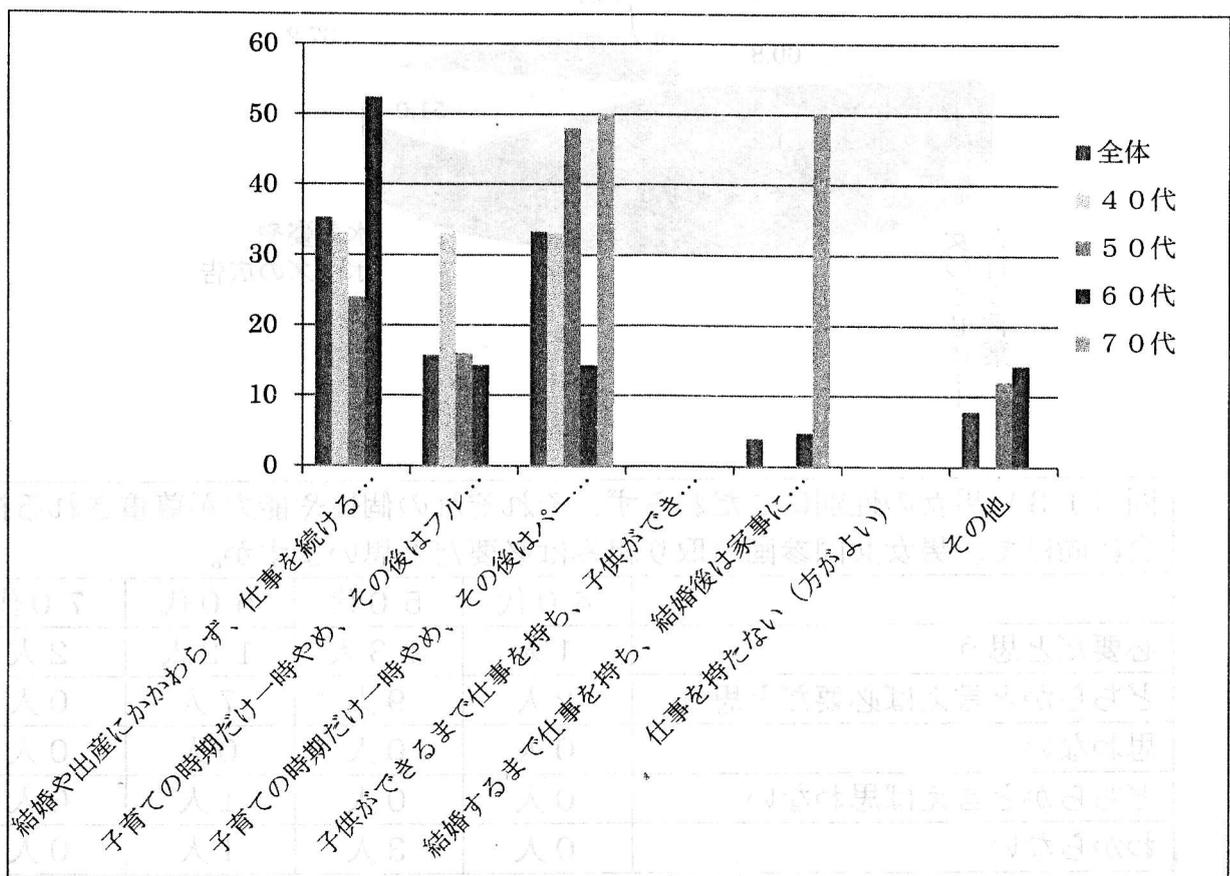


問(13)男女の性別にこだわらず、それぞれの個性や能力が尊重される社会に向けて、男女共同参画の取り組みは必要だと思いますか。

	40代	50代	60代	70代
必要だと思う	1人	13人	12人	2人
どちらかと言えば必要だと思う	2人	9人	7人	0人
思わない	0人	0人	0人	0人
どちらかと言えば思わない	0人	0人	1人	0人
わからない	0人	3人	1人	0人

問(12) 女性が仕事を持つことについて、あなたの考えにもっとも近いものを1つお答えください。(%)

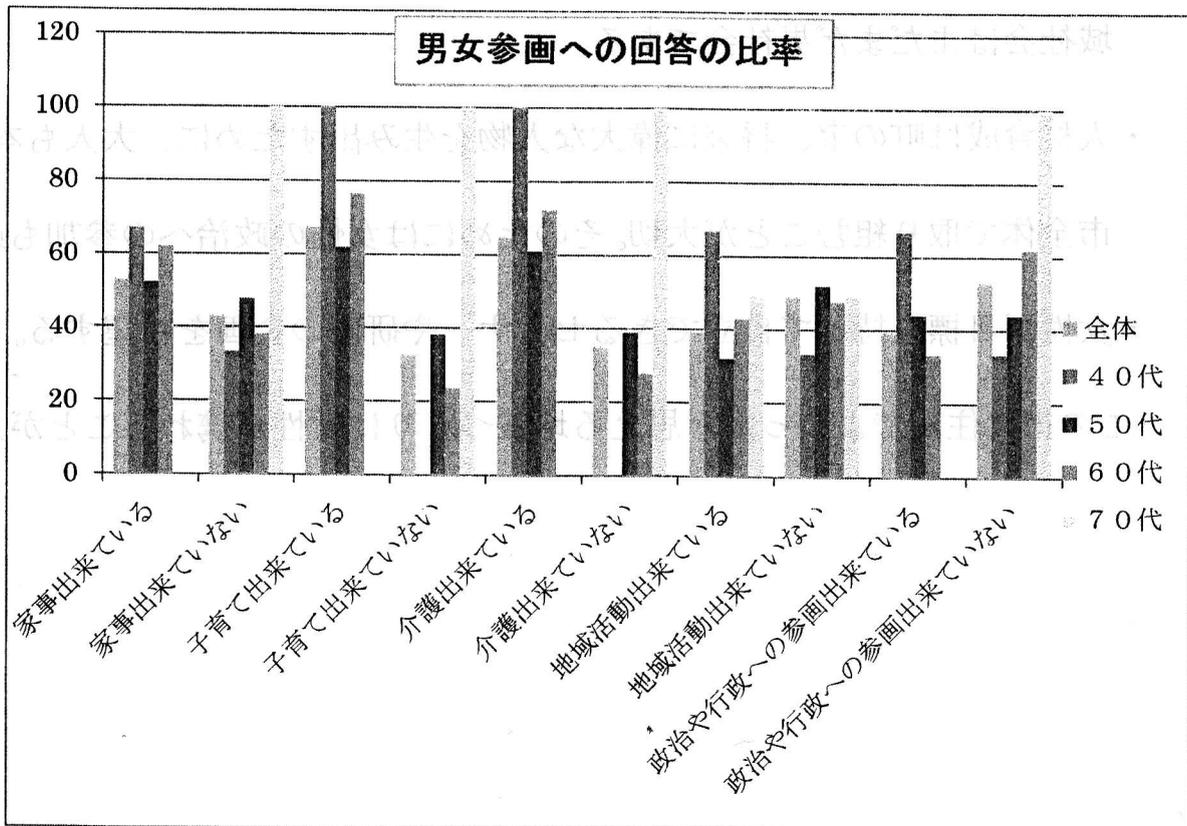
	全 体	40代	50代	60代	70代
結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける(方がよい)	35.3	33.3	24.0	52.4	0.0
子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける	15.7	33.3	16.0	14.3	0.0
子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	33.3	33.3	48.0	14.3	50.0
子供ができるまで仕事を持ち、子供ができたなら家事や子育てに専念する	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する	3.9	0.0	0.0	4.7	50.0
仕事を持たない(方がよい)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.8	0.0	12.0	14.3	0.0



## 男女参画への回答した比率

(%)

	家事 出来ている	家事 出来ていない	子育て 出来ている	子育て 出来ていない	介護 出来ている	介護 出来ていない	地域活動 出来ている	地域活動 出来ていない	政治や行政への参画 出来ている	政治や行政への参画 出来ていない
全体	52.9	43.1	67.4	32.6	65.0	35.0	39.2	49.0	39.2	52.9
40代	67.0	33.3	100	0.0	100	0.0	66.7	33.3	66.7	33.3
50代	52.2	47.8	61.9	38.1	61.1	38.9	32.0	52.0	44.0	44.0
60代	61.9	38.1	76.5	23.5	72.2	27.8	42.9	47.6	33.3	61.9
70代	0.0	100	0.0	100	0.0	100	50.0	50.0	0.0	100



問（14）あなたは、今後米原市の発展に何が大切だと思いますか

男女共同参画の社会づくりや女性の会への要望など自由にお書き  
ください。

[主な意見]

- ・自治会長、市議会議員など政策決定の場に女性が参画していない。
- ・女性の声を自治会や市政に反映させる仕組みを作ることが必要。
- ・女性自身の意識改革が必要。
- ・各自治会に女性役員の登用を市の条例に盛り込むことが必要。
- ・結婚や出産で仕事を辞める女性が多いのも現実。両立していくためには夫の理解が必要。
- ・男女共同参画の研修に男性の参加が少ない。男性の意識改革が必要。地域社会はまだまだ男社会である。
- ・人材育成は町の宝、将来に偉大な人物を生み出すために、大人も本気で市全体で取り組むことが大切。そのためには女性の政治への参加も必要。
- ・女性が目標を持って自立できるセミナーや研修の企画を希望する。
- ・この市に住んでよかったと思える地域づくりに女性が携わることが大切。

## アンケートの考察—現状と課題

- ・問（４）「男は仕事、女は家庭」の固定観念には同感しないと感じている人が８割近くあり、全般に意識は高いといえる。

背景に「男女雇用機会均等法」や「男女共同参画基本法」などの法制度化があるのではないか。

- ・問（５，６，７）「男性の家事、子育て、介護などへの参加」は進んできているが問（８，９）「地域活動における女性の意見の反映や、政治や行政などへの女性の参画」は消極的な傾向がみられる。

- ・家庭内より地域の方が遅れていることがわかる。ここを改善することが、今後の男女共同参画を進めていく指針になるのではないか。女性を政策決定の場に押し上げていくことが必要と思われる。

- ・問（１０）「地域のしきたりや慣習が改善されているか」の設問では４対５で改善されているとは思わないとの回答であった。

自治会の役員に女性が参画していくことで改善されていくのではないか。

- ・問（１２）「女性が仕事を持つことについての考え」は結婚、出産に関わらず仕事を続ける方がよい。子育ての一時期だけ辞めてその後は仕事を続ける方がよいを選択した割合が高い。